

壁掛けストール小便器 **施工説明書**

FP571 22.12

## 施工される前に

- この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- 小便器洗浄弁の使用水压範囲は最低必要水压:0.07MPa(流動圧)から最高使用水压:0.75MPa(静水压)です。  
給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 固定部材取付位置に、取付用木枠が設置されていることを確認してください。

## 施工された後に

- 不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。
- 本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

**安全のために守ってください**

- ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。  
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

## 用語および記号の説明

**警告** ... 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

**注意** …「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ …「注意下さい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⊘ …「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

❗ …「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

**警告**

- ⊘ 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。  
※故障、ケガの恐れがあります。

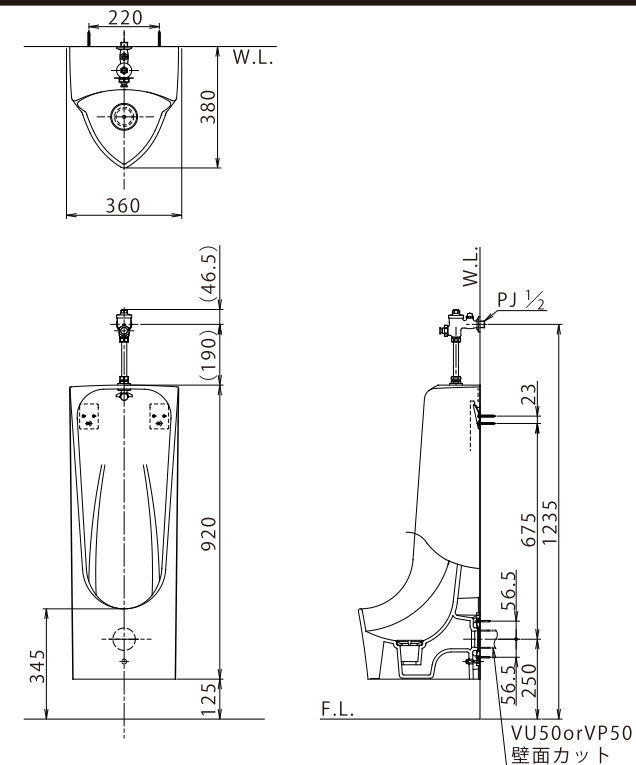
**注意**

- ❗ 必ず2人以上で施工を行ってください。  
※腰を痛めたり、陶器をおとして破損する可能性があります。
  - ❗ 施工後必ず試運転し各部に漏水のないことを確認してください。  
※水漏れにより家財を汚す原因になることがあります。
  - ❗ めっきされた部分にモンキーレンチなどを用いる場合は、めっきを傷つけないように必ず布片をはさんでください。

お 願 い

- 施工前に給水管、排水管の中のゴミや砂などがあれば完全に除去してください。
- 清掃を行う際には、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。
- ※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつかますと跡が残ることがあります。)

## 施工寸法図



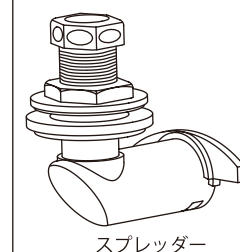
## 部品の確認(梱包内容を確認してください)

小便器セット



小便器本体

箱入り



スプレッター

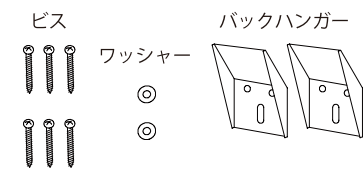


目 目

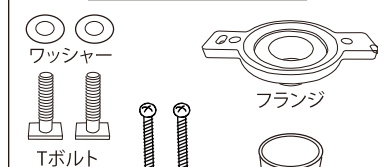


施工説明書(本書)

## 袋入り



箱入り

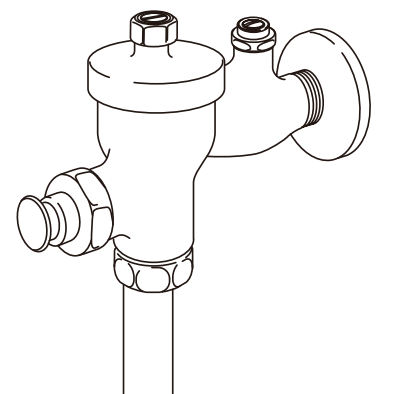


フレンジ

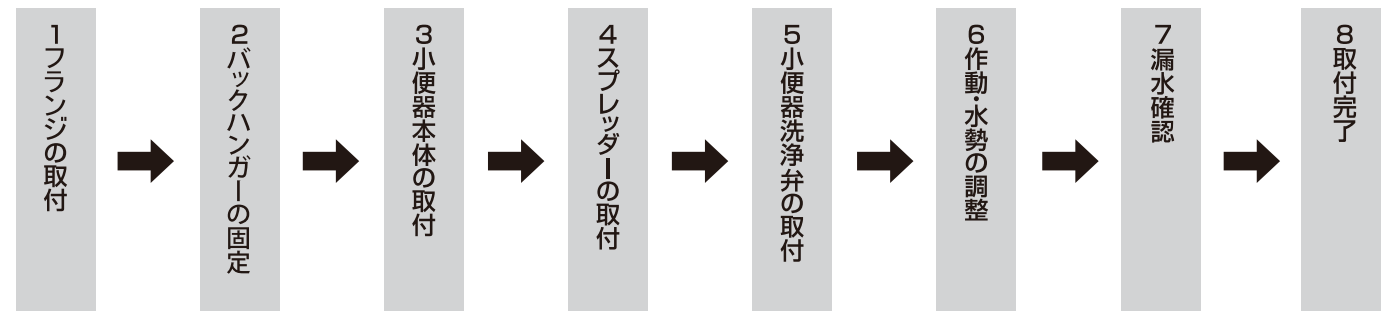


VU50ソケット

**小便器洗淨弁**



## 施工の流れ



**ジャニス工業株式会社**

本社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎〈0569〉35-3151

## 1 フランジの取付

このフランジはVU、VP50の塩ビ管専用です。

- (1) 塩ビ排水管は床から250mmの位置に取り出します。
- (2) 塩ビ排水管を壁仕上面と同一になるように切断します。

(3) フランジ、固定用ビスの位置決めをします。

(4) フランジにTボルト、ワッシャー、ナットを仮付けします。(図1)

(5) VP管はVUリングを外しフランジに接着剤を塗布します。

VU管はVUリングとフランジの両方に接着剤を塗布します。(図2)

(6) Tボルトをはめた状態で、フランジを排水管に差し込み  
接着し、ナットとワッシャーを取り外した上で固定用ビス  
でフランジを壁止めします。(図3)

※排水管のばらつきによりフランジとの接着剤塗布面に  
すき間が生じる場合は、高粘度(ゲル状)の塩ビ用接着剤を  
使用してください。

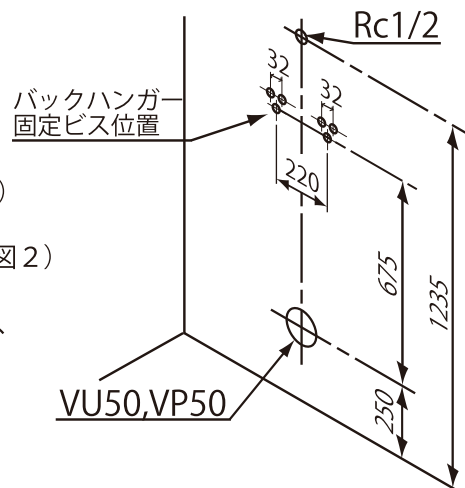


図1

Tボルト、ワッシャー、ナットは  
上部には使用しません。  
1組余る状態になります。

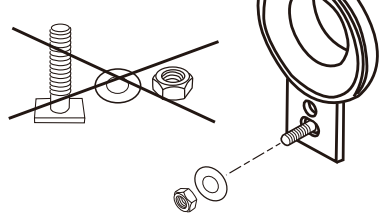


図2

VP50の排水管の  
時、排水ジョイン  
ト用ソケットは必  
要ありません。

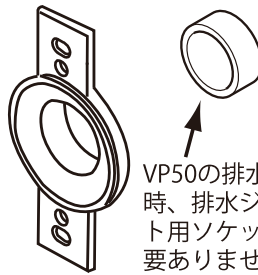
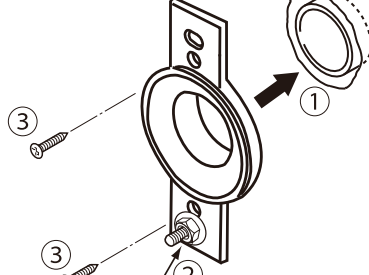


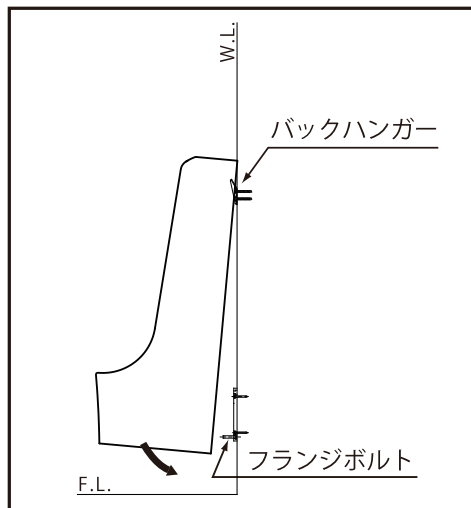
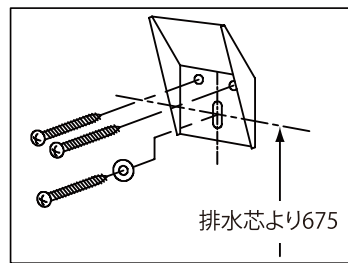
図3

ナット、ワッシャーは取り外します。



## 2 バックハンガーの仮固定および固定

- (1) 排水芯より所定の高さを中心にバックハンガー長穴の中心を  
合わせて仮固定します。
- (2) 小便器をバックハンガーに掛け、フランジボルトが小便器の  
ボルト穴に入ることを確認し、小便器を一旦外します。
- (3) バックハンガーを各々3本のねじで固定します。



## 3 小便器本体の取付

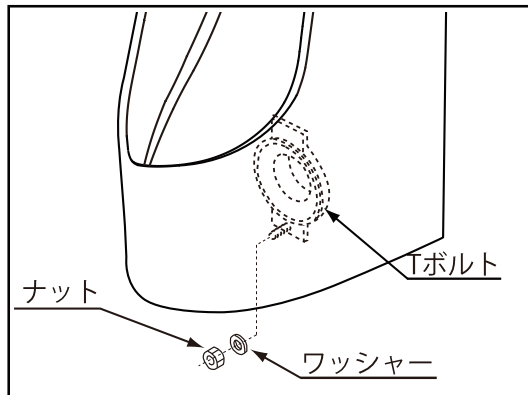
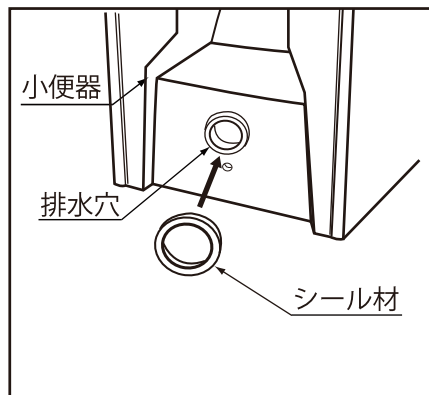
注意

小便器排水口外周のごみや水、油分を取除きシール材を取付けてください。  
フランジ面も同様です。

(1) 小便器の排水穴にシール材を取り付け、小便器をバックハンガーに掛けます。

(2) フランジボルトにワッシャー、ナットを締めて小便器下部を固定します。

※ナットは強く締めすぎないでください。強く締め過ぎますと小便器が割れる恐れがあります。

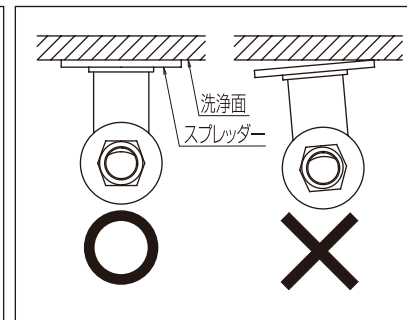
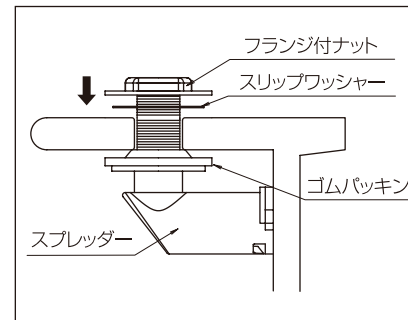


## 4 スプレッターの取付

(1) 小便器本体の給水穴に下からスプレッ  
ダーを入れます。

(2) 上からスプレッターのねじ部分にスリ  
ップワッシャー、フランジ付ナットを  
はめます。

※スプレッターが陶器の洗浄面と平行  
になるように装着してください。



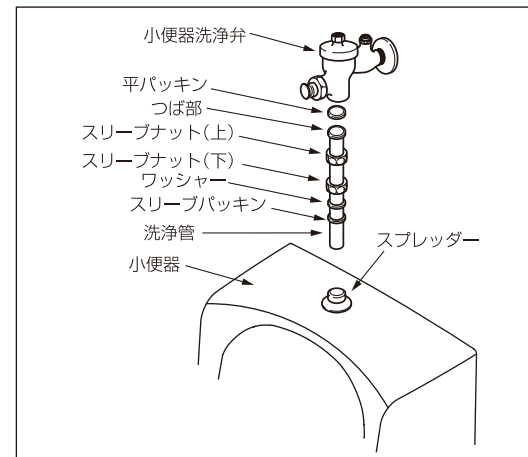
## 5 小便器洗浄弁の取付

(1) 小便器洗浄弁が垂直(ねじが下)になるように取り付けます。

(2) 洗浄管とスプレッターの接続は、現物合わせにて差込代  
10～15mm 残して、必要に応じて切断します。

※洗浄管の差込代が少ない場合は漏水する場合があります。  
※つばのあるほうは、小便器洗浄弁側ですので切断しないで  
ください。

(3) 小便器洗浄弁側に平パッキン、スプレッター側にワッシャー  
とスリーブパッキンを入れて、それぞれのスリーブナットを  
締め付けます。



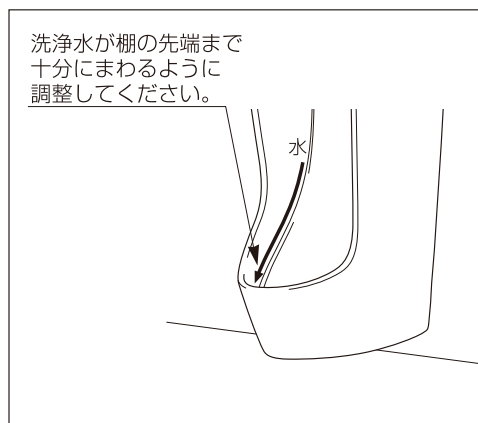
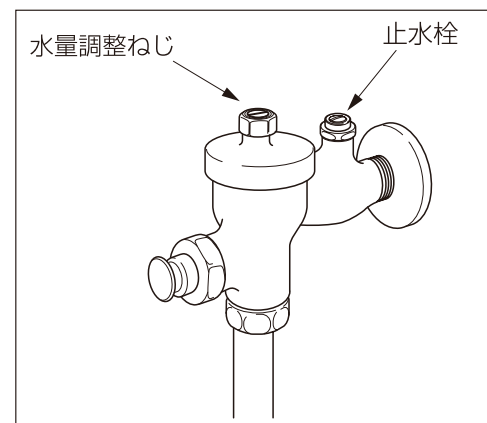
## 6 作動・水勢の調整

(1) 通水前に小便器洗浄弁の止水栓を全閉にします。

(2) 配管接続に間違いがないことを確認後、通水します。

(3) 小便器洗浄弁を操作しながら徐々に止水栓を開けていき、小便器の先端まで水がまわるように調整します。  
※水勢が強すぎると、洗浄飛沫・水飛びが多く発生する場合があります。

(4) 吐水量を調整する場合は水量調整ねじを使い調整します。



## 7 漏水確認

小便器洗浄弁を操作して数回洗浄し、各接続部に漏水が無い  
ことを確認します。

